



親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。
今回ご紹介するのは「長居植物園」です。

癒しを求めて街へ行こう!...の巻

おでかけには最高の季節です。お弁当持ってどこかへ行こう!
子どもが走り回れて、のんびりできる、そんな場所、近くにあったかな...?

長居公園の中にある、『長居植物園』をご存知ですか? 四方を道路に囲まれているにもかかわらず、緑溢れる癒しの空間が広がっています。昨年秋、このPRポスターが新しく作られました。『クマは出ません』というコピーと、北アメリカを思わせるような写真。そして今春、第二弾ができました。



『エスティシャンはいません』というコピーとイギリス庭園風の写真。二ヶ所とも長居公園の中に実際にある場所です。

そして今、一番行きたいスポットは

ここ! 今年の8月25日(土)~9月2日(日)、長居公園は世界陸上大阪大会の会場になります。それに合わせて長居陸上競技場のフィールドの芝が張り替えられました。はがされた芝はどうするの? 捨てるなんてもったいない!! ということでこの2月に植物園の芝生広場に移植されました。ワールドウィークからはその場所も開放されています。世界の一流選手たちも味わたった感触を全身で感じてみてください。

次は正面入口を入ったところにあるハート形のアーチ。ここにぶらさがっている鐘を鳴らすと願いがかなうかもしれない? と評判になりました。花壇をバックにすれば最高のフォトスポットです! バード



芝生広場と大池

ウォッチングができる大池や、花と緑と自然の情報センターの屋上庭園もおすすめです。



今回紹介してい

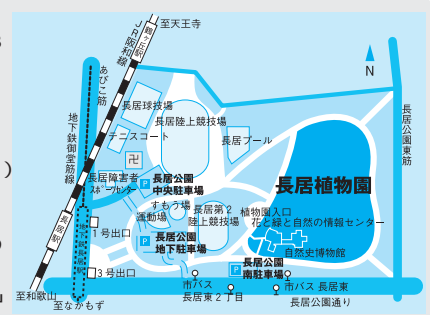
るスポットをオリエンテーリング風を探してみませんか? 子ども向けの地図も新しくなり、わかりやすくなりました。また、自分だけのお気に入りの場所をみつけて一年で草花がどんなふうに変わっていくのか、変わらないのを見えていく、なんていう植物園ならではの楽しみ方もありますね。取材にはいつものように子どもを連れておじゃましました。「植物園? 散歩に行くの?」と始めは乗り気でなかった子どもたちでしたが、半時間もしないうちに興味津々でどんどん先に行ってしまう。アクセスのいい場所にこんなに遊べる空間が広がっていたとは、まさに新発見! でした。

(文・写真: 梅木智子)

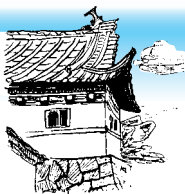
長居植物園

<http://www.ocsga.or.jp/n-syoku/index.html>

場所 〒546-0034 東住吉区長居公園1-23
電話 6696-7117
FAX 6696-7405
開館 9:30 ~ 16:30
休館 休園日: 月曜日 (休日の場合はその翌日)
費用 大人200円 (中学生以下、障害者、市内在住の65歳以上の人は無料(要証明))
交通 地下鉄御堂筋線「長居」3号出口を東へ800m、JR阪和線「長居」東出口を東へ1000m



このコーナーでは「うちのイチ押し」「親子でなにわ新発見」「人権啓発」の3つの読み物を順番に掲載しています。次回6月号は「人権啓発」です。次回の「親子でなにわ新発見」は8月号の掲載です。



おおさか歴史探訪

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

旧藤田伝三郎邸庭園と藤田美術館

明治の大阪を代表する実業家藤田伝三郎は、美術品のコレクターとしても知られていました。現在の都島区網島町にあったその邸宅は、明治末から大正初期にかけて建設されましたが、表門以外はほとんどを戦災で焼失してしまいました。しかし、敷地北側の庭園部は残り、整備されて一般に公開されています。

築山、滝、水の流れを基本としながらも、築山をスクリーン的に扱って、先の見えない意外性や、そそり立つ石組みのダイナミック性を求める構成は、豪壮で荒々しい自然の情景を表したもので、明治の大阪を代表する庭園のひとつといえ、平成15年に大阪市指定文化財に指定されています。

美術館はその庭園の南側にあり、藤田父子が蒐集した美術品、国宝9点、重要文化財47点を含む総数4850点が収蔵され、春と秋に特別公開されています。もと邸宅の一部であった土蔵を改修して美術館としていますが、明治44年の竣工で、鉄筋コンクリート構造としては、わが国で最初期の建物としても貴重です。

藤田美術館 ☎6351-0582

(文・写真: 教育委員会文化財保護担当)



石組みと築山からなるダイナミックな構成

MAP

